

McIntosh C1100

価格2,000,000円（税別）

製品背景

設計 ロン・エバンス氏

シドニー・コーダマン氏の右腕としてキャリアを積み、昨年までマッキントッシュエンジニアリング部門を責任者として率いていました。現在は、その立場を後進にゆずりスーパーバイザーとして製品開発に携わっています。そのエバンス氏が設計者として製品構想から製品化まで担当し、デジタル時代の中、あえてアナログ再生を意識し、マッキントッシュ・チューブアンプの血統を引き継いでいます。マッキントッシュ・プリアンプとして次世代のパフォーマンスと存在感を示すべく製品になります。

2シャーシ構成

電源部/コントロール部とプリアンプ部を完全に独立させた2筐体設計。

新設計のプリアンプ部

ボリューム回路に至るまでバランス回路を採用し、歴代プリアンプの中でノイズレベルと歪みレベルにおいて真空管プリアンプにもかかわらず、歴代プリアンプの中で際立って低い値を達成。

新世代の電子ボリュームを採用

新たなボリュームコントロールICを採用する事により、低ノイズとよりワイドなダイナミックレンジを実現しています。

C1000と比較し、低ノイズとよりワイドなダイナミックレンジを実現。

優れたバランス入力と二つの独立したノイズキャンセリング用アンプを搭載し、優れたコモンモードノイズの打ち消しを実現。

豊富な入出力

6系統のバランス入力、4系統のアンバランス入力、2系統のバランス出力、2系統のアンバランス出力。

真空管プリアンプとして、IC回路を減少。

使用真空管数 C1100—12本、 C1000—8本

プリアンプ回路は、新設計の純粋な真空管回路を採用

オーディオ回路のICの数 C1100—28個、 C1000—50個

フォノ回路 C1000T 12AX7 x 4

C1100 12AX7 x 4、12AT7 x 2

バッファ（インピーダンス整合）用ICを真空管に変更。

ラインレベル C1000T 12AX7 x 4

C1100 12AX7 x 2、12AT7 x 4

ボリューム直後のICを真空管に変更。

プリアンプラインナップの中で最高品質のヘッドフォン出力搭載。

8~40Ω、40~50Ω、150~600Ωのヘッドフォン・インピーダンスに対応。

前方定位を実現する、HXD®クロスフィード機能搭載。

仕様

■周波数特性：

20Hz ~ 20,000Hz (+0dB/-0.5dB)

10Hz ~ 100,000Hz (+0dB/-3dB)

■全高調波歪率：

0.005%以下 (ライン入力)

0.05%以下 (フォノ入力)

■定格出力：

5.0V (バランス)

2.5V (アンバランス)

■最大出力電圧：

20Vrms (バランス)

10Vrms (アンバランス)

■出力電圧 (可変)：

0 - 8.0Vrms (可変アンバランス)

0 - 16.0Vrms (可変バランス)

■入力感度：

900mV (バランス)

450mV (アンバランス)

4.5mV (フォノ MM)

0.45mV (フォノ MC)

■S/N比：

107dB (ライン)

77dB (フォノ MM)

79dB (フォノ MC)

■入力インピーダンス：

44k Ω (バランス)、22k Ω (アンバランス)

フォノ MM 47k Ω /50 ~ 800pF(50pF ステップ)

フォノ MC 25、50、100、200、400、1000 Ω (220pF)

■最大入力レベル：

20V (バランス)、10V (アンバランス)

100mV (フォノ MM)

10mV (フォノ MC)

■出力インピーダンス：

200 Ω (バランス)、100 Ω (バランス)

■ヘッドフォン適合負荷インピーダンス：8~40 Ω 、

40~50 Ω 、150~600 Ω

■ヘッドフォン出力：150mW + 150mW (16~600 Ω)

■真空管：

12AX7 x1、12AT7 x2 (ch / ライン)

12AX7 x1、12AT7 x1/2 (ch / フォノMC)

12AX7 x1、12AT7 x1/2 (ch / フォノMM)

■消費電力動作時：

100W

0.5W以下 (スタンバイ時)

■外形寸法 (C1100C)：

幅44.5cm

奥行き41.9cm (突起部含む)

高さ15.2cm

■外形寸法 (C1100T)：

幅44.5cm

奥行き40.3cm (突起部含む)

高さ15.2cm

